

# NEWS & TOPICS

最新ニュースを  
お届け!!

金沢大学衛星1号機「こよう」など金沢大学の最新情報を紹介します。  
注目の取り組みやイベント・研究など本学の「今」を感じてください。

May 2024

## 国際的な総合科学雑誌の最高峰「Nature」2024

14 March 2024号 Health sciences特集「A holistic approach to health in Japan」  
9 March 2023号「How industrial exhaust heat could be used to extract carbon dioxide」  
に、金沢大学の記事広告が掲載されました。

## 「Nature Index Annual Tables 2023」



金沢大学は、  
**Health Science部門**  
**国内大学8位**に  
ランキングされました。

また、**総合では13位**、  
**Earth and Environment**  
**Sciences部門では10位**  
となっています。

## The Japan Times

December 16, 2023  
ASEAN-Japan 50th  
anniversary special号に、  
学長インタビュー記事が  
掲載されました。



## STEAMing into the future with global learning

Kanazawa University is working to attract more international students by offering top class research, liberal arts, and science subjects as part of a plan to produce leaders of the future.



Takashi Wada,  
President, Kanazawa University

A forward-thinking university is planning to revolutionize education for the next generation by bringing the world to Japan. The ground-breaking faculty of Kanazawa University is working to improve not just the life and performance of its students, but of the

under society and economy.

The institution not only works to attract international learners but has developed a specially designed social system to support their local integration and well-being. Now Kanazawa University President, Takashi Wada said they need to work harder to open to the wider world while strengthening ties with local society. "Being an island country is part of what makes Japan's culture so special and inviting more international students enhances that culture, nationally and at Kanazawa University, in terms of research, the educational atmosphere, and the local community," he said. Attracting and getting the best out of the next generations of students requires a multifaceted approach combining welfare, academics, and creative thinking.

As well as its strong commitment to life sciences research, and ICT systems that support remote learning and the web-enabled smart society of the future, the Kanazawa faculty are keen enthusiasts for STEAM

studies, the modern idea of integrating arts teaching alongside technical subjects. "The newer generation requires a higher level of resourcefulness, with a wide skill set gained from a variety of areas," Wada said. "We embrace liberal arts are taught across a wide range of degree disciplines. "With 160 years of history, the university is proud to look back while planning forward." The vision for the future involves a blend of what we would call the Our first and most important mission is to foster the next generation of leaders and thinkers," Wada said.



「TIME」Asia Edition, December 26/2022 &  
January 9/2023号, Online版12月26日掲載

## 日本経済新聞

「人事が見る大学イメージ  
ランキング(R5.6)」  
全国総合ランキング **12位**

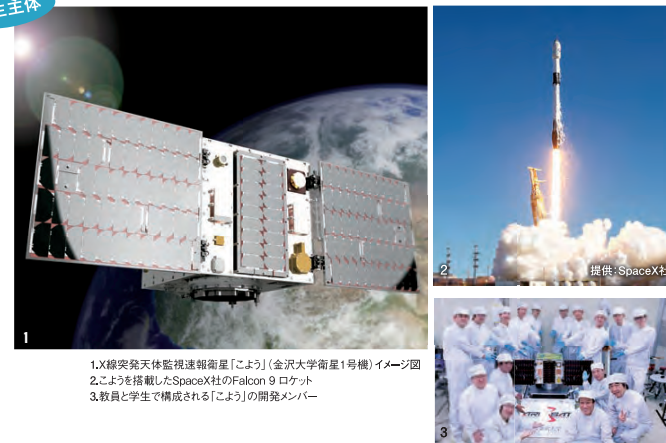
## 日経BPコンサルティング

令和5年12月12日  
学長インタビュー、大学紹介

## Y-SAPIX

JOURNAL vol.66  
大学歴訪録 #54

## 金沢大生開発の衛星「こよう」 打ち上げ・地上との通信に成功!



1.X線突発天体監視速報衛星「こよう」(金沢大学衛星1号機)イメージ  
2.こようを搭載したSpaceX社のFalcon 9 ロケット  
3.教員と学生で構成される「こよう」の開発メンバー

2023年12月2日、本学教員と学生が一丸となって開発したX線突発天体監視速報衛星「こよう」が米国SpaceX社Falcon 9ロケットで打ち上げられました。6日までに、搭載した通信系の全てでデータの送受信ができ、衛星が自律的に太陽電池パドルを展開、太陽電池の向きを太陽方向に維持していることが確認されました。「こよう」のミッションは、最先端の宇宙物理学の研究と実際の衛星開発を通じた宇宙理工学教育の実践であり、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の革新的衛星技術実証3号機の実証テーマとして選定されています。

## ナカフクリ食堂がオープン 学生の起業スペースも設置

2023年10月2日、角間キャンパス中地区に「ナカフクリ食堂」がオープンしました。食堂は、6つのブランドのブースが揃うフードコートです。学生の起業スペースも設けており、「ころろ食堂」は、廃棄予定の規格外野菜を使用したスープをメインとしたお店です。学生が食材の仕入れから調理、提供までのすべてを担っています。食堂の壁や机に彩られたメッセージや、テラス席のくつろぎ空間も特色の一つです。



6つのフードブランドが並ぶ食堂

## 第17回ホームカミングデイで ヴァーチャルキャンパスを公開

2023年10月28日、角間キャンパスで第17回ホームカミングデイを開催しました。今回は、同窓生の皆様からご提供いただいたキャンパスの写真などをとくに、ヴァーチャル空間に旧城内キャンパスを再現したヴァーチャルキャンパス見学会が初開催され、来場者は母校の懐かしい学び舎へのタイムスリップ体験を楽しみました。12月9日には、第12回留学生ホームカミングデイを角間の里で開催しました。



ヴァーチャルキャンパス見学会を体験する同窓生の方

## 金沢大学のプロジェクトが ユネスコ/日本ESD賞を受賞

2023年11月2日、国際日本研究センターのMammadova Aida准教授が推進する「日本のユネスコ生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)およびジオパーク内の遠隔地域活性化を目的とした世代間学習」事業がユネスコ/日本ESD賞を受賞しました。同賞は、ESD活動に取り組む機関・団体が実施する優れたプロジェクトを表彰するものです。日本の機関・団体が受賞するのは、賞の創設以来、2件目となります。



パリで開催された授賞式でスピーチする堀川達夫理事

## 金沢大学は、全学をあげて令和6年能登半島地震の被災者・被災地支援に取り組んでいます。

金沢大学は、震災直後に災害対策本部を設置し、学生・教職員・患者様の安否確認や被害状況の確認を開始しました。角間キャンパス、宝町・鶴間キャンパス、金沢大学附属病院、附属学校園をはじめとする、能登地域以外の拠点においては、建物は安全な使用が可能な状態であり、大学入学共通テストや教育・研究活動、診療を継続することができました。また、附属病院の災害派遣医療チームの出動に加え、地震学や地質学、考古学にいたるまで、さまざまな分野の研究者が、現地での調査開始へと動き出しました。さらに、中長期的視点から、能登における教育、医療、文化、産業の復興・再生そして継続的発展を強力に推進するため「能登里山里海未来創造センター」を1月30日に設置しました。

金沢大学は、引き続き地域・自治体・企業と連携しながら、被災地の復旧・復興に取り組んでいます。



文科科学大臣と学長による意見交換



附属病院のDMATは震災直後に医療支援活動を始動



学生・教職員による被災地でのボランティア活動



避難している中学生へ対して、本学学生による学びの支援



2024年4月16日付 日本経済新聞 朝刊 全国版 全面広告「金沢から未来を紡ぐ」を掲載しました

## 医学類旧書庫など5件が登録有形文化財に登録

3月6日、医学類旧書庫、医学類解剖標本庫、医学類病理標本庫、医学類西面南旧正門および煉瓦塙、医学類西面北煉瓦塙の5件が「国土の歴史的景観に寄与しているもの」の基準を満たすとして、登録有形文化財<sup>※</sup>として登録されました。本学は歴史的財産を後世に引き継ぐべき文化的資産として適切な保存と活用を行っています。

※50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録するもの。



医学類旧書庫(旧制金沢医科大学附属図書館書庫)

## 附属病院第2中央診療棟が完成、手術室を増設

3月18日から、附属病院第2中央診療棟の全面供用を開始しました。本診療棟には、抗がん剤治療を行う外来化学療法センターを移設し、22床から38床に増床しました。また、手術支援ロボット[hinotori]や「da Vinci」が設置された手術室、血管造影が可能なハイブリッド手術室を増設しました。既存の中央診療棟の改修完了後には、手術日程のスムーズな調整が可能となる予定です。



「hinotori」が設置された手術室

## 秋篠宮皇嗣妃殿下が学生や医療スタッフとご懇談

4月26日、秋篠宮皇嗣妃殿下が、角間キャンパスおよび附属病院にお成りになりました。令和6年能登半島地震で被災した子どもたちの学習支援に携わった学生ボランティアや、医療支援活動を行った医療スタッフとご懇談され、被災地の復興に向けた取り組みや、被災者支援について熱心に耳を傾けておられました。学生、医療スタッフには、キルト製のお花とともに、おねざらのお言葉をいただきました。



学習支援ボランティアに参加した学生らのご懇談

## G7 富山・金沢教育大臣会合を機に国際交流がより一層加速

昨年5月15日、本学においてG7富山・金沢教育大臣会合のエクスカージョン(視察)が行われ、G7各国・国際機関の代表者と、本学学生、留学生や附属学校生らが教育の未来をテーマに対話しました。その後も、G7各国との国際的な交流をはじめとしたグローバルな活動が大学全体で広がっています。



協力学生へ感謝状が授与されました



角間キャンパスにて

## 文部科学省の大型事業等に採択「未来知」により社会に貢献

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」

本学が掲げる10年後のビジョン「文理医融合による非連続なイノベーションを創出し続ける世界的拠点の形成」からバックキャストし、基礎研究・融合研究の高度化や、社会実装の最速化を図ります。北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)および東京大学が連携機関となります。

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「大学発新産業創出基金事業」「スタートアップ・エコシステム共創プログラム地域プラットフォーム共創支援」

本学とJAISTが主幹機関となり、北陸地域の12大学・3高専が提案したスタートアップ創出プラットフォーム「Tech Startup HOKURIKU」(Tech)で、北陸発の世界にはばたく新産業の育成、新たな人材ニーズの発掘により、地域の活性化、社会課題の解決に貢献していきます。

文化庁「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」

これまでの日本語教師養成等の実績を生かして北陸地域にネットワークを構築し、日本語教育の現状を改善する拠点を整備します。